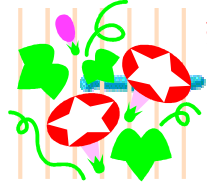


募集しています！「夏休み 親子ふれあい木工教室」

平成 25 年 8 月 24 日(土) AM8:30~12:00

詳しくはチラシ・ホームページをご覧ください。

※ 参加ご希望の方は、お電話ください！メールでもOKです。



節電しながら涼しくなる方法

7月8日に東海地方も梅雨明けしましたね。平年よりも6日~13日早いそうです。梅雨明けが早いという事は、夏が長いということです。冷たいものの取りすぎでお腹を壊したり、暑さで気力・体力が減退してしまったりと身体が暑さに負けないように過ごしたいですね。

すだれ・よしずで遮光 断熱

よしずは、家の軒下に立てかけ、すだれは窓や戸口の上から垂らして使いましょう。外から中が覗きにくくなり、日光を遮断してくれます。そして、空気の層を作ってくれるので高温の外気から室内をシャットアウトしてくれます。

打ち水を効果的に打てば涼しくなる

水が蒸発して気体になるとき、周辺から熱を奪っていく性質があります。これを「気化熱」と言います。打ち水は気化熱によって周辺の温度を下げます。ただし日が高い日中に打ち水をするると逆に湿度が上がって蒸し暑くなってしまいます。夕方、日が落ちる直前ぐらいに打つのが効果的です。

水うちわ ミストファン

水うちわは、竹製の骨に和紙を貼り付けて天然のニスと和紙に塗り込んだうちわです。ニスの働きによって水に付けて使っても破れません。その上、水に濡れているため、仰ぐと気化熱の作用で涼しい風が吹いてくるのです。

現代版の水うちわは、扇風機に霧吹きが付いた構造のミストファンです。霧吹きで粒子状の水を吹きかけた後、扇風機が風を送り込み、気化熱と扇風機の風で急速冷却するという仕組みになっています。

新築現場情報

島田市 島にて6月24日に地鎮祭を行いました。

7月上旬より基礎工事が始まりました。

完成は12月の予定です。

棟梁は大石建築様です。



木くぼり

木がつくる住環境

温度・熱編③

快適に感じる環境

住宅には、暑さや寒さを防ぐ性能が要求されます。とくにわが国は、夏は熱帯並みに暑く、冬は寒気が厳しいため「夏涼しく、冬暖かい」住宅が望まれます。

例えば、鉄筋コンクリート造住宅では夏は朝方まで室温が下がりませんし、冬には暖房をしても壁等に多くの熱をうばわれ、部屋が暖まるまでに時間がかかります。

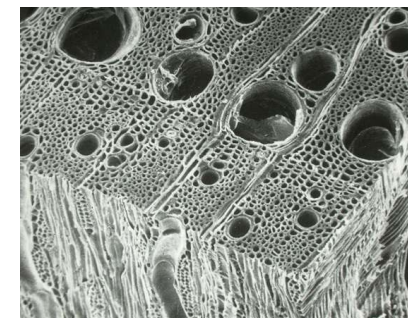
日本の気候は冬を除くと、湿度がかなり高いことも忘れてはいけません。現在の住宅は、温度環境をコントロールするため、従来の開放的建築様式から、密閉度の高い建築様式に変わりつつあります。ダニ・カビの問題はその過程で生じたものであり住宅における気候風土性を無視することの危険さを示すものといえます。

木材の熱的性質

木材が好まれる理由の1つに、木材は触れると温かい、という手触りのよさがあげられます。感覚的に「木材が温かい」ことは、木材が熱を伝えにくい性質によって科学的に証明できることです。熱の伝えやすさは熱伝導率で表しますがこれは、熱エネルギーの移動速さを示しています。それぞれの熱伝導率を比較すると、コンクリートは杉の12倍、鉄はスギの483倍も熱を伝えやすいのです。手で触ると冷たく感じるコンクリートや鉄は熱を伝えやすく、木材は熱を伝えにくいので、温かく感じられるのです。

熱を伝えにくい秘密

電子顕微鏡で木材を見ると、パイプ状の細胞の集合体であることがよくわかります。このパイプ状の細胞の中には、身近な物質では最も熱を伝えにくい空気が入っているため、木材は熱を伝えにくいのです。木材が最も多く使われる用途は住宅向けですが、このときに「熱を伝えにくい」性質が素晴らしい威力を発揮します。



針葉樹の顕微鏡構造